

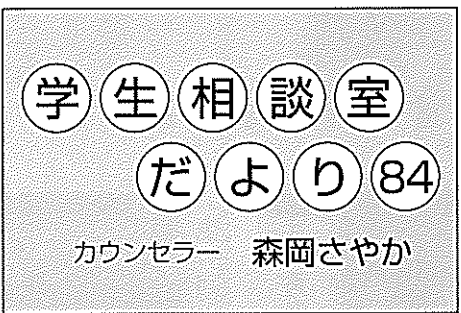
「相談室」ときくとどのようなところをイメージされますか？

全く違う職種の人と話している
と、「カウンセリングって何を
するの?」「どんな相談が多いの?」
と訊かれることがあります。相談
室と接点のない人にとって相談室
という場所は、私が思っている以
上に分かりにくい世界なのかもし
れません。

家族でも友達たちでも
教員でもなく、相談室
のカウンセラーに相談
する理由は、来談者そ
れぞれに様々です。日
常生活の人間関係に影
響しない相手に相談し
たいという人もいる
し、普段の生活の場と
相談する場をしっかりと
区切ることが重要な人
もいます。大切な人を
心配させたくないからという人も
いますし、専門家に話を聞きたい
という人もいます。そばに居る人
が、自分にではなく相談室に行っ
て相談すると聞いたなら、もしかし
たら「なぜ私に話してくれないの
だろう?」とショックを感じる
かもしれません。けれども、そば
に居る人が信頼できないからでは
なく、このように様々な思いが

あつて相談室が利用されているの
です。

では相談室は何をするところな
のでしょう。気持ちを整理する、
この先どうすればいいのか考え
る、自己理解を深める…これも人
により時により様々で、いろいろ
な説明の仕方があると思います。
ある友人との会話で、「それつて
つまり親友を作つてあげるつてい
うこと?」と聞かれま



した。もちろん、カウ
ンセラーが親友になつ
てあげるという意味で
も、友だちを紹介して
あげるといふ意味でも
ありません。本人が今
持っている対人関係
を、より豊かにしてい
くための取り組みが、
カウンセリングである
という意味です。友人
のその言葉は全く思いもよらぬ表
現だったけれども、確かにそんな
捉え方もできるかもしれないと
かえつて私の方が教えられたよう
な気がしました。

